

教育活動および課外活動への 奨励金の拠出を行いました！



会長 挨拶

会員の皆様におかれましては、ますます御健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日本福祉大学附属高等学校は2018年度に60周年を迎え、「日本福祉大学附属高等学校創立60周年記念式典」を開催しました。式典には知多半島の市長・町長・教育長の皆様に始め多くの方々にご出席いただき、本校が舞台となった「世界でいちばん長い写真」の上映会も行いました。

日本福祉大学附属高等学校同窓会は、現在約15,000人の同窓生をもつ大きな組織となっています。母校のますますの発展のためにも、今後とも同窓生同士がタテにヨコにつながり、お互いの活躍を喜びあえる場となるよう取り組んでまいります。会員の皆様の本会の企画等への積極的参加をお願い申し上げますと同時に、まだ会員ではない方のご加入を心よりお待ちしております。

同窓会会長 宇都宮みのり（1984年度卒 25回生）

教育活動および課外活動への 奨励金の拠出を後援会と共に行いました。

日本福祉大学附属高等学校後援会と共に、教育活動および生徒の課外活動への助成を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりにほぼ制約のない中で様々な活動が行えたことと思います。部活動だけでなく、資格取得や国際交流事業でも熱心に取り組む姿には心が躍ります。



同窓生のみなさん！

年会費（1,000円）の納入、
寄付にご協力ください。

ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900 店番：089

種別：当座 店名：〇八九店 □座番号：0169025

加入者名：日本福祉大学附属高等学校同窓会

学校長挨拶「人生の player になろう」



校長 山口 喜久枝

今年度も卒業式を迎える時期となり、新しく239名の同窓生を迎える。

彼らの高校生活のスタートとリンクするのは、水泳の池江璃花子選手の白血病からの復活である。「すぐくつろいでしんどくても、努力は報われるんだ」東京オリンピックの代表を勝ち取った彼女は涙ながらに語った。2021年度校長室だより4月号の『今月の言葉』を飾ったのは、この彼女の言葉。私の校長としての第一号の通信だった。

秋篠宮家の長女眞子さんの結婚が話題となったのもこの年のこと。皇籍離脱一時金ももらわず、儀式も行わず、結婚に踏み切った眞子さん

に作家の森まゆみさんは次のような言葉を送った。

「私の尊敬する知恵ある老人は『失敗のない人生はそれこそ失敗でございます』と言った。この言葉を眞子さんにプレゼントしたい。家柄、財産、職業に安全弁のついたご令息との結婚など、何わくわくすることがあるだろうか。思うように生きたい。好きな仕事をしたい。もっと別の貧しい、過酷な社会があることも知るといい。うまくいかなかったらやり直せばいい。人に強いられる人生には恨みしか残らないが、自分の信念で選んだことなら責任の取りようはある。眞子さん、アメリカで羽ばたいてください。」

自分で自分の人生を生き抜く。当たり前のことながら、これが難しい。マンモマーを中心に医療を無償で提供し、多くの子どもの命を救うことに人生をかけてきた医師である吉岡秀人さんを紹介しよう。「医師の役割とは何か」彼は次のように答える。「病気を治す」ことだけではなく、「その人の治療後の人生を豊かにすること」。彼ががんの腫瘍を抱えた子どもの治療を行った

時のこと。その子の腫瘍は大きく膨らみ、これを取り除いたとしても余命は1年。でも手術は行う。なぜならば、ひょっとしたら1回は学校に行けるかもしれない、マーケットに買い物ぐらいなら行けるかもしれない。その経験はこの子の人生に光をもたらす。この子の家族にもそれはうれしい記憶として残るはずだ。病気は治せなくても心は救える。この子の人生に小さな花を咲かせることができる。これが、苦しい取り組みの中で、彼がたどり着いた結論だった。

彼は若い世代の人達に向かって「人としての基礎体力を今こそつけよう。」と呼びかける。人生はやがて熟成・発酵し、虫メガネが太陽の光を一点に集めて紙を燃やすように、自分自身のやりたいことにぐっと向かっていける時が来る。しかし、人生の傍観者にはその時はやってこない。人生のPlayerになってほしいんだ。そのために基礎体力を養ってほしいんだ。基礎体力を養うとは？嫌いな仕事・苦しい仕事をやってみる、反りの合わない人とチームを組んで何かに取り組んでみる。単に自分のやりたいことややりやすいことだけに取り組むのではなく、自分に少し負荷がかかる、ストレスをもたらすことに取り組んでみる。そうすることで、自分自身の中に柔軟性や寛容性が育まれ、思わぬところで人間としての幅を広げること役立つことがある。「人生の豊かさ」それは、「いいことも悪いこともその両方の経験をたくさんすることではないのか。」と彼は言う。いいことも悪いことも引き受け、自分自身の中で消化していくことにより、人間の厚みは育っていく。そのためにも、「君も自分自身の人生のPlayerになろう」。傍観者になれば時間だけがこぼれ落ちていき、取り戻すことはできない。彼は言う。「スポーツで考えてみよう。例えば、ラグビーの試合を観て、もちろん観客としても感動することはできる。だけど、悔しさも含め、一番大きな感動を手にするのはほかでもない、選手そのものだ。」

自分の真価が問われる日々が始まる。共に頑張りましょう。

2023年度 部活動課外活動成績

コロナによる制限もなく生徒は部活動をはじめ大いに活躍しました。

和太鼓部

全国大会で優秀賞受賞！

全国大会で第2位優秀賞を受賞し、初の2年連続優秀校東京公演に出場しました。県選考会では2024年度全国大会（全国高文芸岐阜大会）出場校に選ばれ、連続33回目の出場となります。



吹奏楽部

全国大会で最優秀賞受賞！

全日本吹奏楽コンクール東海大会出場（金賞）に続き、日本管楽合奏コンテスト全国大会に3年連続で出場し、最優秀賞を受賞しました。2024年度は高文連の全国大会（全国高文芸岐阜大会）にも出場します。



サッカー部男子

インターハイベスト4！

第77回愛知県高等学校総合体育大会でベスト4まで勝ち進みました。ベスト4進出は本校初です。



サッカー部女子

1部リーグ昇格！

2部リーグで奮闘したサッカー部女子は連続連勝、快進撃を続けて1部昇格を決めました。



ダンス部

『DANCE of the CITY AICHI』優勝！

本校ダンス部代表チームが『DANCE of the CITY AICHI』コンテストの高校生部門で優勝しました。



陸上競技部

総合体育大会知多支部予選会で女子が総合優勝！

総合体育大会知多支部予選会で女子が総合優勝を果たしました。数々の大会新記録も出し、活躍しました。複数の生徒が東海大会、JOCジュニアオリンピックカップに出場しました。



硬式テニス部

始動の初年度から躍動！

愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選でシングルス、ダブルスとも複数のブロック優勝者が出て、県大会に出場しました。硬式テニス部は今年度から始動しています。



国際交流 プレゼンテーション



プラチナ賞受賞！

WYM (World Youth Meeting) で本校から出場した3チームがプラチナ賞を受賞、台湾で開催されたASEP (Asian Student Exchange Program) でも本校から出場したチームがプラチナ賞を受賞しました。



2023 年度 事業活動報告

- 1 会務の運営強化
2 委員会活動の強化推進
3 会員・幹事等交流事業の実施
- 4 会員・ホームページを中心とする広報活動の実施
5 在校生との交流・支援事業の実施
6 母校並びに関係支援団体との連携強化

会計報告

● 2022 年度同窓会会計決算

(収入の部)

項 目	2022 年度 予算額	2022 年度 決算額	比 較	備 考
前年度繰入金	1,161,755	1,161,755	0	
入会金収入	1,045,000	1,045,000	0	入会金 (@5000 × 209 名)
会費・寄付金収入	0	17,162	17,162	雑収入 16,996 円含む
利息収入	0	13	13	銀行利息 (普通預金のみ)
合 計	2,206,755	2,223,930	17,175	

(支出の部)

項 目	2022 年度 予算額	2022 年度 決算額	比 較	備 考
事務費	5,000	550	4,450	*業務費
消耗品費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
雑 費	5,000	550	4,450	残高証明書手数料
会議費	50,000	20,856	29,144	*会議運営費 (通信費、 会議費、交通費)
幹事会	20,000	16,000	4,000	1 回
常任幹事会	20,000	4,856	15,144	3 回
委員会	10,000	0	10,000	
事業費	850,000	678,467	171,533	*各事業運営費
文化講演会	50,000	50,000	0	三団体合同企画「文化の つどい」負担分
会報発行	350,000	320,369	29,631	印刷費、発送作業費、発 送料
交流企画	50,000	0	50,000	ゆりのき祭企画
ホームページ運営	0	0	0	
特別給付奨学金	0	0	0	拠出停止
新会員記念品	100,000	108,098	-8,098	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	100,000	0	100,000	
部活動奨励金	200,000	200,000	0	全国大会等奨励金
備品費	0	0	0	
小 計	905,000	699,873	205,127	
予備費	801,755	0	801,755	
周年事業積立金	500,000	500,000	0	
支出合計	2,206,755	1,199,873	1,006,882	
次年度繰越金	0	1,024,057	1,024,057	
合 計	2,206,755	2,223,930	17,175	

● 2023 年度同窓会会計予算

(収入の部)

項 目	2023 年度 予算額	2022 年度 決算額	比 較	備 考
前年度繰入金	1,024,057	1,161,755	-137,698	
入会金収入	1,205,000	1,045,000	160,000	入会金 (@5000 × 241 名)
会費・寄付金収入	0	17,162	-17,162	
利息収入	0	13	-13	銀行利息 (普通預金のみ)
合 計	2,229,057	2,223,930	5,127	

(支出の部)

項 目	2023 年度 予算額	2022 年度 決算額	比 較	備 考
事務費	5,000	550	4,450	*業務費
消耗品費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
雑 費	5,000	550	4,450	残高証明書手数料
会議費	50,000	20,856	29,144	*会議運営費 (通信費、 会議費、交通費)
幹事会	20,000	16,000	4,000	1 回
常任幹事会	20,000	4,856	15,144	3 回
委員会	10,000	0	10,000	
事業費	880,000	678,467	201,533	*各事業運営費
文化講演会	50,000	50,000	0	三団体合同企画「文化の つどい」負担分
会報発行	350,000	320,369	29,631	印刷費、発送作業費、発 送料
交流企画	50,000	0	50,000	ゆりのき祭企画
ホームページ運営	0	0	0	
特別給付奨学金	0	0	0	拠出停止
新会員記念品	130,000	108,098	21,902	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	100,000	0	100,000	
部活動奨励金	200,000	200,000	0	全国大会等奨励金
備品費	0	0	0	
小 計	935,000	699,873	235,127	
予備費	794,057	0	794,057	
周年事業積立金	500,000	500,000	0	
支出合計	2,229,057	1,199,873	1,029,184	
次年度繰越金	0	1,024,057	1,024,057	
合 計	2,229,057	2,223,930	-5,127	

● 周年事業積立金

(収入の部)

項 目	2022 年度予算額	2022 年度決算額	比 較
前年度からの繰越	1,500,002	1,500,002	0
一般会計からの積立	500,000	500,000	0
利 息	0	17	17
計	2,000,002	2,000,019	17

(支出の部)

項 目	2022 年度予算額	2022 年度決算額	比 較
周年事業費	0	0	0
次年度への繰越	2,000,002	2,000,019	17
計	2,000,002	2,000,019	17

(収入の部)

項 目	2023 年度予算額	2022 年度決算額	比 較
前年度からの繰越	2,000,019	1,500,002	500,017
一般会計からの積立	500,000	500,000	0
利 息	0	17	-17
計	2,500,019	2,000,019	500,000

(支出の部)

項 目	2023 年度予算額	2022 年度決算額	比 較
周年事業費	0	0	0
次年度への繰越	2,500,019	2,000,019	500,000
計	2,500,019	2,000,019	500,000

2023 年度 常任幹事会 役員名簿

会 長	宇都宮みのり	1984 年度卒業	常任幹事	永井久美子	1984 年度卒業	顧問	岩本 憲之	前校長	監 事	門脇 未羽	2016 年度卒業
副 会 長	吉村 和幸	1984 年度卒業		新美 滋啓	1987 年度卒業		今田 和弘	教 頭	会 計	丸山 容子	1978 年度卒業
	石垣 孝浩	1984 年度卒業		古川 真帆	2005 年度卒業		大崎 博史	事務長		竹内 裕賀	事務職員
	山口喜久枝	校 長	顧問	丹羽 典彦	1960 年度卒業		向井 直紀	校内担当教員			
常任幹事	富岡 隆治	1983 年度卒業		小塚 光夫	1968 年度卒業	監 事	堀場 純矢	1993 年度卒業			

2023 年度 在職教職員紹介

校 長	山口喜久枝	1 学年主任	清水 敦史	青木 律子 (英 語)	加藤 亮人 (国 語)	武智 静香 (保健体育)	藤井 佑海 (国 語)
教 頭	今田 和弘	2 学年主任	石崎 撰	浅井 信全 (数 学)	神谷 貴史 (保健体育)	田中 理恵 (英 語)	松永 太志 (地歴公民)
	松永 太志	3 学年主任	君塚 磨	石崎 撰 (国 語)	河合理恵子 (理 科)	中川 雄斗 (数 学)	宮東 靖浩 (理 科)
学 監	平野 征人			伊藤 克之 (国 語)	君塚 磨 (数 学)	中村 順子 (英 語)	向井 直紀 (地歴公民)
教務部長	青木 律子			今田 和弘 (地歴公民)	近藤美穂子 (地歴公民)	夏目 大輔 (理 科)	森 あゆみ (国 語)
生活指導部長	日高 幸浩			岩田 千尋 (国 語)	榊原 智穂 (英 語)	野田 悟 (地歴公民)	安井 慎治 (地歴公民)
進路指導部長	岡部 道宜			岩橋由美子 (養 護)	島田 祥宇 (理 科)	樫 秋晴 (数 学)	山口喜久枝 (国 語)
渉外部長	今田 和弘			植田 龍志 (英 語)	清木 敦史 (理 科)	長谷川友紀 (英 語)	山田 育世 (情 報)
				上野 尚輝 (地歴公民)	高橋 駿介 (英 語)	半田こすも (国 語)	山田 尚悟 (地歴公民)
				鶴飼 建吾 (保健体育)	高橋 駿翼 (保健体育)	速水 聖矢 (保健体育)	山本 常夫 (保健体育)
				岡部 道宜 (数 学)	竹内 智司 (保健体育)	原 祐治 (国 語)	
				加賀 敏美 (数 学)	竹内 洋子 (英 語)	日高 幸浩 (数 学)	

2022 年度 退職教職員紹介

柴田 雄都 (地歴公民)

同期会等開催費助成制度のご案内

本会の中心的活動の一つである卒業同期会等の開催を促進するために、【同期会等開催助成】をおこなっています。クラス会やサークル OB・OG 会の開催についてもこれを準用していますので、同期会等催される際にはご一報ください。

1 助成金の交付

幹事から申請のあった開催内容に基づいて、各年度一回に限り、次の金額を交付します。

- (1) 同期会の開催にあつては、10,000 円。
- (2) クラス会及びサークル OB・OG 会にあつては、3,000 円。

2 申請手続きから助成金納入まで

- ①会長宛に別紙【同期会等助成申請書】を記入の上、申請してください。
なお、同期会・クラス会の開催にあたり宛名シール（同窓会名簿による）の発行を希望するときはその旨を申し出てください。
- ②本部より幹事宛に会費納入のお願い文書や宛名シール、パンフ等（希望の場合）を送付します。

- ③同期会終了後、【所定の報告書】を提出してください。また、宛名シール（同窓会名簿）と違う連絡先が判明した場合（住所や氏名の変更）は、お知らせください。

- ④報告書確認後、申請時の銀行口座に助成金を振り込みます。

3 その他

- (1) 申請は、当該年度に開催する同期会等を対象とします。
- (2) 同窓会本部は、申請者（幹事）に対し【同窓会費の納入のお願い】文書等を送付しますので、参加者への周知にご協力ください。
- (3) 高校や学校法人が発行するパンフレット等を希望する場合は、その旨を申し出てください。
- (4) 本部役員に出席の要請があるときはその旨申し出てください。常任幹事で調整します。